

教育理念・目標・方針・教育ポリシー

◆教育理念

医療に関する専門的学識及び技能を有し、併せて、組織的な経営管理能力を備えた、視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。

◆教育目標

高度な専門技術や知識はもとより、コミュニケーション能力や豊かな人間性を併せ持つスペシャリストの育成を目指す。

◆教育方針

- ①客観的臨床能力を含むコミュニケーション能力やマネジメント能力を身につけた人材を育成する
- ②主体的に学び協同する力を備えた問題解決能力を身につけた人材を育成する
- ③豊かな知識や確かな技術を身につけた人材を育成する
- ④社会に貢献できる視野の広い実践的な人格や態度を有した人材を育成する

◆アドミッションポリシー：入学者受入れの方針

求めている人物像は、理学療法士になりたいとの意欲、求められる知識・技術・姿勢を学ぶ意欲があること。医療福祉分野への貢献する意欲があり、自ら課題を見つけ、解決のために仲間と協力できる人物。求める人物像

- ・理学療法士になる意欲がある人物
- ・高等学校卒業相当の基礎学力が有り、知識・技術・姿勢の修得に意欲がある人物
- ・様々な年齢層とコミュニケーションを取るために必要な資質がある人物
- ・学生として必要な情報を柔軟に受け入れ対応することができる人物

◆カリキュラムポリシー：教育課程編成・実施の方針

国家試験の動向を踏まえ、学生や教員による授業評価を実施している。

前期及び後期の授業開始前に教員によるシラバス会議を実施し、授業内容等の調整を行い、シラバス内容を確定させている。

シラバスの公表は、シラバス会議後の前期及び後期の授業開始までに、半期毎に行っている。

養成する能力

- ・初年次は、理学療法に関する基礎科目を主に配当し、実践的な知識・技術の修得をめざす
- ・初年次は、コミュニケーション能力やマネジメント能力の修得をめざす
- ・評価年次は、臨床現場で必要な検査測定・評価に関する知識・技術・姿勢の修得をめざす科目を配当する
- ・臨床年次は、理学療法の臨床現場において、学びを駆使し、自ら課題を見つけ解決につなげる能力を養う科目を配当する
- ・科学的根拠に基づく予防や治療を行い、医療福祉分野において、理学療法を実践し貢献できる能力を養う

◆ディプロマポリシー：卒業認定・学位授与の方針

所定の期間（Ⅰ部：3年、Ⅱ部：4年）在学し、以下の能力を身につけるべく編成・実施された教育課程の学修を通じ、履修規程に定める所定の単位を修得した者に教授会を経て卒業を認定している。

養成する能力

- ・客観的臨床能力を含むコミュニケーション能力やマネジメント能力を身につけている
- ・主体的に学び協同する力を備えた問題解決能力を身につけている
- ・豊かな知識や確かな技術を身につけている
- ・社会に貢献できる視野の広い実践的な人格や態度を有している

◆アセスメントポリシー：学修成果に対する評価の方針

関西医科専門学校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、機関（学校）レベル・教育課程（学科）レベル・科目（授業）レベルの3段階で学修成果を査定する方法を定めています。また、学生の入学時、在学時、卒業時の各段階において評価を実施します。

1 機関レベル（学校全体）

学生の志望進路に対する就職率、免許取得率などから、機関レベルでの学修成果達成状況を検証する。

2 教育課程レベル（学部・学科）

単位取得状況、資格・免許の取得状況などから、教育課程レベルでの学修成果達成状況を検証する。

3 科目レベル（授業）

シラバスに定められた成績評価に基づく評価、授業アンケートなどから、科目レベルでの学修成果達成状況を検証する。

4 具体的な検証方法は次のとおりとする

	【入学前・入学時】 アドミッションポリシー を満たす人材かどうかの検証	【在学中】 カリキュラムポリシーに則 って学修が進められている かどうかの検証	【卒業時・卒業後】 ディプロマポリシーを満た す人材になったかどうかの 検証
機関 レベル	・入学試験 ・個人面談内容 ・調査書等の記載内容 ・入学前学習	・進級率 ・休学率 ・退学率	・学位授与数 ・就職率
教育課程 レベル	・入学試験 ・個人面談内容 ・調査書等の記載内容 ・入学前学習	・単位修得状況 ・進級率 ・学内試験 ・学内、学外模擬試験 ・外部資格試験	・卒業率 ・資格試験合格率 ・国家試験合格率
科目 レベル	・入学試験 ・個人面談内容 ・調査書等の記載内容 ・入学前学習	・授業アンケート ・成績評価	